

静かで安全な空を取り戻そう

爆音と墜落の危険が
市民生活おびやかす

日本共産党

米軍機の飛行訓練中止を

前橋市上空を中心に米軍ジェット機が、昼夜を問わず飛行し爆音をまき散らしています。「市街地で飛ばないで」「米軍機なら本国でやってほしい」など、住民からの苦情や問い合わせが県庁などに殺到。神奈川県綾瀬市では1月、米軍艦載機からの部品落下事故も起きています。住民はいつ事故にまきこまれるかわからない不安の中にいます。米軍機の飛行訓練はただちに中止せよ——この声を大きくあげていきましょう。



共産党、政府と県に要請

メッセージ等を記入し、50円切手を貼付の上、ご投函ください



日本共産党群馬県委員会は2月16日、政府と群馬県に対し、県内上空での米軍機の飛行訓練中止を在日米軍司令部に要請するとともに、飛行ルートを含めて全容を明らかにするよう申し入れました。塩川鉄也衆院議員、たなはしせつ子参院群馬選挙区予定候補、平和委員会メンバーらが参加。防衛省の担当者は「1件でも苦情があれば米側に伝え配慮を求めていく」とのべました。

新ぐんま 2010年3月号外

日本共産党の見解をお知らせします

日本共産党群馬県委員会

前橋市古市町 1-47-3 電話 027-251-6994

<http://homepage3.nifty.com/jcpgma/>

切
り
取
り
線



1 0 7 8 4 2 0

東京都港区赤坂 1-10-5
在日米国大使館

アメリカ合衆国大統領

バラク・H・オバマ 殿

オバマ米大統領に私たちの声を届けよう



前橋上空を飛行する米軍艦載機

米軍機は航空法の適用を除外され、空域についても高度についても何の制限もなく、訓練ルートさえ明らかにされていません。米国では公表されているルートしか訓練できず、「野生生物」への影響まで事前に調査して厳しい規制がとられています。日本では何の規制もありません。安保条約で認められているからです。日本国民への影響は、米国の「野生生物」よりも考慮されないというのが現実です。こんなひどい実態を、米軍の最高司令官でもあるオバマ大統領に伝え、低空飛行訓練をやめさせましょう。

下の要請ハガキを切り取って投函していただくか、電話やメール、手紙などで直接思いを届けましょう。

<抗議・要請先>

在日米国大使館 〒107-8420 東京都港区赤坂 1-10-5 電話 03-3224-5000(代表) FAX03-3505-1862

ホワイトハウスへのメールはこちら <http://www.whitehouse.gov/contact>

外務省 〒100-0013 千代田区霞ヶ関 2-2-1 FAX03-5501-8430

防衛省 〒162-0845 新宿区市谷本村町 5-1 FAX03-5269-3270

前橋防衛施設事務所 電話 027-221-5351

群馬県庁 電話 027-223-1111(代表) 爆音問題は地域政策課へ

Dear Mr. President

Our peaceful lives has been threatened by the deafening noise of non-stop low-altitude flights by the carrier-based US fighter jets. "Our children are all scared" "I can't sleep because of fear" "The aircrafts sound is so bothering that I can't concentrate on my exam study" These are the angry voices of our citizens.

In the United State, the US military is not allowed to conduct its flight training off the designated routes.

The US government has even made assessments of the effect of deafening sound on the wildlife to regulate the military maneuvers. It is not acceptable for us that there is no such restrictions on the US Forces in Japan.

Mr. President, we sincerely hope that you order to stop such dangerous flight training above the densely populated areas, threatening our life and safety. Give us back our peaceful sky, please.

Sincerely yours,

A citizen in Japan

氏名

住所

メッセージ (日本語でどうぞ)

(和訳)

アメリカ合衆国大統領 バラク・H・オバマ殿

今、あなたの国の軍隊の艦載機が、私たちの上空を昼夜を問わず低空飛行し、爆音が市民生活をおびやかしています。「子どもが怖がっている」「不安で夜も眠れない」「受験勉強に集中できない」—このような怒りや抗議が行政に相次いで寄せられています。

米国本土では、軍事飛行訓練は公表されたルートでしかできず、しかも「野生生物」への影響まで調査して規制されているというのに、日本では何の規制もありません。とても、納得することができません。

オバマ大統領に強く求めます。私たちのいのちと安全をおびやかす、市街地上空での危険極まりない飛行訓練はただちに中止してください。静かで安全な空を返してください。

日本の一市民より

政府と県への請願署名にもご協力を

国民・県民の生活と安全を守るのが行政の役割です。米軍に飛行訓練中止を申し入れるように政府と群馬県に求める請願署名にもぜひご協力ください。